

## 2. メタ研の事務所移転のこと

北 良行 主任研究員 2020年6月着任 (JOGMEC)

私が社会人となったのは1982年のことで気が付けば40年も経っている。当時 JOGMEC は金属鉱業事業団、略して金探（金属鉱物探鉱促進事業団）と言われ、現在虎ノ門ヒルズがまさに建つあたりに、常盤ビルという7階建ての、一階にガソリンスタンドを有する小さなビルにあった。ほぼ10年間は事務所の引っ越しもなく、床が傾き、いつ壊れてもおかしくないその危険なビルで過ごしていたが、1993年秋田支所勤務となり秋田県小坂町古館にある秋田県資源技術開発機構の建物（ピンク色）の一角に御世話になることになった。十和田湖や八甲田山という一級の観光地にいつでも行ける田舎暮らしを満喫していたが、突然、県庁施設の北側に金探独自の金属資源技術研究所を建設することとなった。これが出先での事務所引っ越しとおつきあいの始まりである。新しい建物は気持ちが良いものだが、大きなエントランスホールに飾るものが何も無く、来訪の客人をもてなすため、わたし個人の鉱物サンプルを駆使して、標本陳列棚を作ったことが懐かしまれる。帰京後すぐにヨハネスブルグ事務所へ配置換えとなった。事務所はサントンスクエア（現ネルソンマンデラスクエア）の近くアリスレーン 5th にある大きなビルの片隅であった。正確にはヨハネスブルグという地域は南側にある旧市街を中心に指す。その地域はアングロアメリカン社が多くの不動産を抑えていたが、いささか治安が良くなかったこともあり、日本企業の多くはヨハネスブルグより北側にある新興のビジネス街サントン地域に居を構えていた。金探が入るビルにも当時のニチメンさんが入っており、初めての海外赴任の私は安堵した。しかしほどなく家主から立ち退きを要求された。当時普及し始めた携帯電話会社一社がビルを占有することになるという。当時ヨハネスブルグには、覚えているだけで鉱産物を扱う商社として三菱商事、三井物産、住友商事、日商岩井、伊藤忠、豊通、ニチメン、トーメン、兼松が事務所を開設し、たくさんの日本人スタッフを置いていた。今は企業の合併や各社のヨハネスブルグ支店に関する業態変化で、会社数も駐在する日本人数も少なくなり、様変わりしてしまったようである。海外で事務所を引っ越しするとは思っていなかったが、優秀な秘書シルビアさんのおかげで、近くに豊通が入るビルに空きを見つけることができた。しかし、1998年には事務所自体を閉めることになり、まだ使える事務機器や資料をメルボルンとロンドン事務所に振り分けて搬送するという仕事が発生した。ちなみにヨハネスブルグ事務所は2019年に再開された。

帰国後しばらくして、日本メタル経済研究所への出向となった。メタ研は1989年に設立されたが、最初の事務所は日本ビルに構え、その後1992年に虎ノ門45森ビル、虎ノ門4丁目森ビル2号館と移転した。私が最初にメタ研で働くことになったのは、2000年に神谷町駅近くの虎ノ門4丁目森ビル2号館にあったところだが、着任後すぐ11月には虎ノ門11森ビルに移転することになった。当時、現在も一緒に業務に携わっている城井さん池田さん達と一緒に引っ越ししたことが懐かしい。無事ご奉公をおえて金探に戻ったが、石油公団との

合併話が進み、常盤ビルあたりが再開発されることもあり、JOGMEC となる金探は川崎駅の間近に都落ちとなった。石油公団側は、都落ちにしばらく応じず、このため JOGMEC 川崎は金属部門のみで始まることとなった。しばらくたって石油公団も越してきたが、そのような訳でフロアーはばらばらとなってしまった。都落ちといっても引っ越し先は新築のミュージア川崎という立派なオフィスビルで、ちんけな常盤ビルからは大出世である。その後、JMEC に出向することになった。JMEC は当時メタ研と同じ虎ノ門 11 森ビルに事務所を構えていた。出戻った気分であったが、2007 年、またほどなく引っ越すこととなった。今度は乃木坂にある赤坂日本ビルという小さなビルである。正面には乃木会館があり、近くには資源素材学会も母校秋田大学の北光会も事務所を構えている。JMEC のご奉公も明けて川崎に戻ったが、ここで 2011 年の東日本大震災にあい、併設するコンサートフォールの天井は崩落した。その後もまたもや引っ越しが待っていた。国際資源状況が逼迫する中、JOGMEC が地方にあっては業務に支障をきたすというのである。そして、現在 JOGMEC は旧日本鉱業が建てた新日鉱ビル、現虎ノ門ツインタワーに移った。虎の門病院の真ん前である。これで事務所の引っ越しは 6 回目となった。現在、この辺りは再開発が盛んにおこなわれており、食堂の多くが閉店し、昼は食事で苦勞することになった。

秋田大学に教員として赴任した 2016 年~19 年の間にも、プロジェクト専用棟ができ学内で引っ越しをすることになった。その後、アメリカ大使館前にある赤坂三会堂ビルに移っていたメタ研への 2 回目の勤務となった。こちらもほどなく神田川一橋近辺、住所では神田錦町にある精興竹橋共同ビルへと移動となった。近くには日本鉱業協会もあり、毎日新聞社や学士会館もある。これで合計 8 回の引っ越しとなった。

いろいろなオフィス街を見ることができたが、最近はコロナで飲み歩くことができず、せつかくの神田錦町という地理的優位性を、いまだ活用できていないような気がする。